

I 調査結果の概要

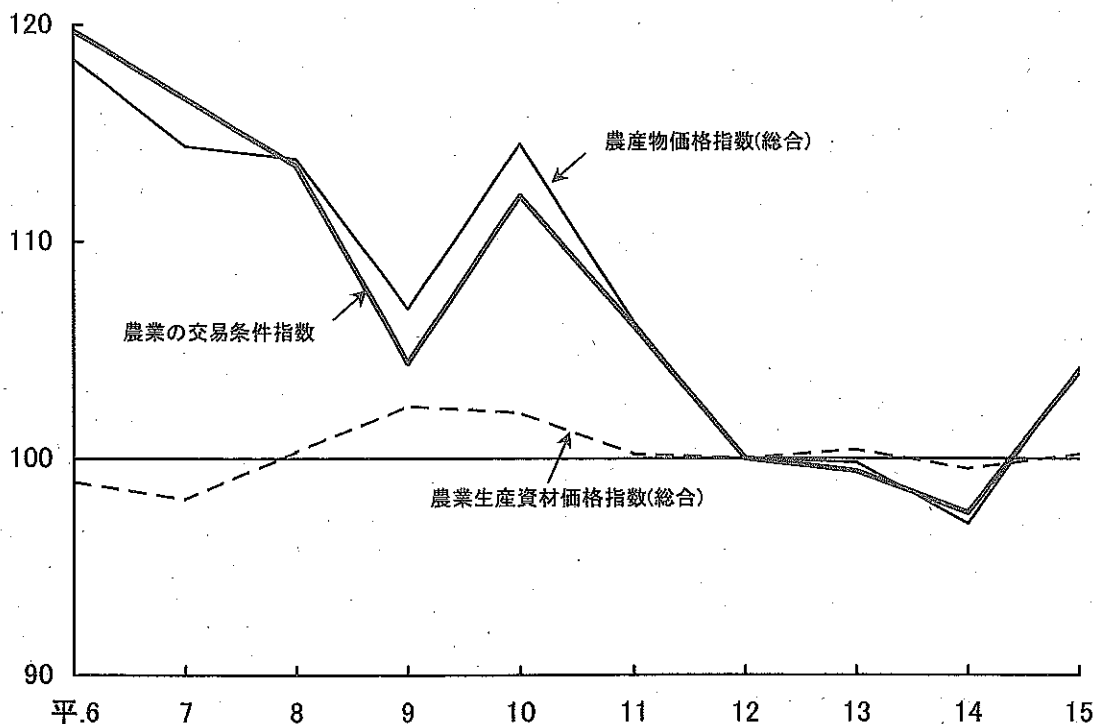
1 農作物価指数

(1) 概況

平成15年の農産物価格指数（平成12年を100とする。以下同じ。）の総合は104.2となり、前年に比べて7.4%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は100.2となり、前年に比べて0.7%上昇した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は104.0となり、前年を6.5ポイント上回った。

図1 農作物価指数の推移(平成12年=100)



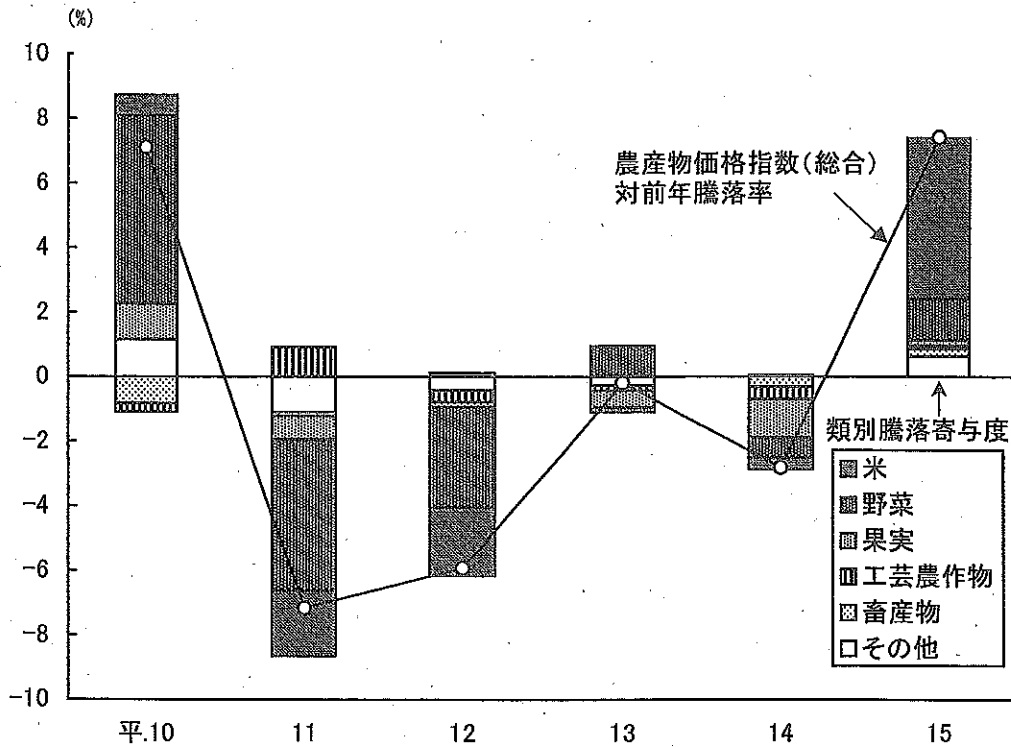
第1表 農作物価指数の推移

区 分	平成12年=100				
	平.11	12	13	14	15
農産物価格指数(総合) ①	106.3	100.0	99.8	97.0	104.2
農業生産資材価格指数(総合) ②	100.2	100.0	100.4	99.5	100.2
農業の交易条件指数 ①/②×100	106.1	100.0	99.4	97.5	104.0

(2) 農産物価格指数

平成15年の農産物価格指数（総合）は104.2となり、前年に比べて7.4%上昇した。これは、米が18.0%、野菜が5.0%上昇したこと等による。

図2 農産物価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



ア 米

米は18.0%上昇した。これは、15年産の自主流通米が値上がりしたこと等による。

イ 野菜

野菜は5.0%上昇した。これは、春の天候不順により、果菜類、葉茎菜類及び根菜類の市場入荷量が減少し、値上がりしたこと等による。

ウ 果実

果実は1.9%上昇した。これは、うめ、りんごが値上がりしたこと等による。

第2表 農産物価格指数の推移

平成12年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		平.14年	15	平.14年	15	平.14年	15
農産物総合	10 000	97.0	104.2	△ 2.8	7.4	△ 2.81	7.42
米	2 737	98.2	115.9	△ 1.3	18.0	△ 0.36	4.99
麦	189	97.2	94.4	△ 1.4	△ 2.9	△ 0.03	△ 0.05
豆	99	91.3	101.4	△ 3.7	11.1	△ 0.03	0.10
いも	166	80.2	106.1	△ 11.6	32.3	△ 0.17	0.44
野菜	2 420	101.2	106.3	△ 2.5	5.0	△ 0.63	1.27
果菜	1 215	100.6	103.9	△ 1.2	3.3	△ 0.15	0.41
葉茎菜	824	99.2	108.8	△ 8.3	9.7	△ 0.74	0.82
根菜	307	106.8	108.0	8.6	1.1	0.26	0.04
まめ科野菜	74	109.6	110.9	1.4	1.2	0.01	0.01
果実	1 083	84.2	85.8	△ 11.6	1.9	△ 1.19	0.18
工芸農作物	513	89.2	90.9	△ 7.7	1.9	△ 0.38	0.09
花き	678	103.8	105.7	4.3	1.8	0.29	0.13
畜産物	2 103	98.6	99.7	△ 1.5	1.1	△ 0.32	0.24
鶏卵	178	91.7	79.5	3.1	△ 13.3	0.05	△ 0.22
生乳	834	100.8	102.0	0.1	1.2	0.01	0.10
肉畜	778	100.3	98.7	△ 1.6	△ 1.6	△ 0.12	△ 0.13
子畜	277	92.7	107.8	△ 6.9	16.3	△ 0.19	0.43
成畜	29	87.6	103.5	△ 15.0	18.2	△ 0.04	0.05
繭	7	110.1	109.2	7.8	△ 0.8	0.01	△ 0.00
稻わら	12	93.6	93.0	△ 6.3	△ 0.6	△ 0.01	△ 0.00

注:騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ。)

$$\text{騰落寄与度(％)} = \frac{\text{類}(\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト}}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

エ 工芸農作物

工芸農作物は1.9%上昇した。これは、茶が輸入量の減少に伴い国内産の需要が増加し、値上がりしたこと等による。

オ 花き

花きは1.8%上昇した。これは、切花類が値上がりしたこと等による。

カ 畜産物

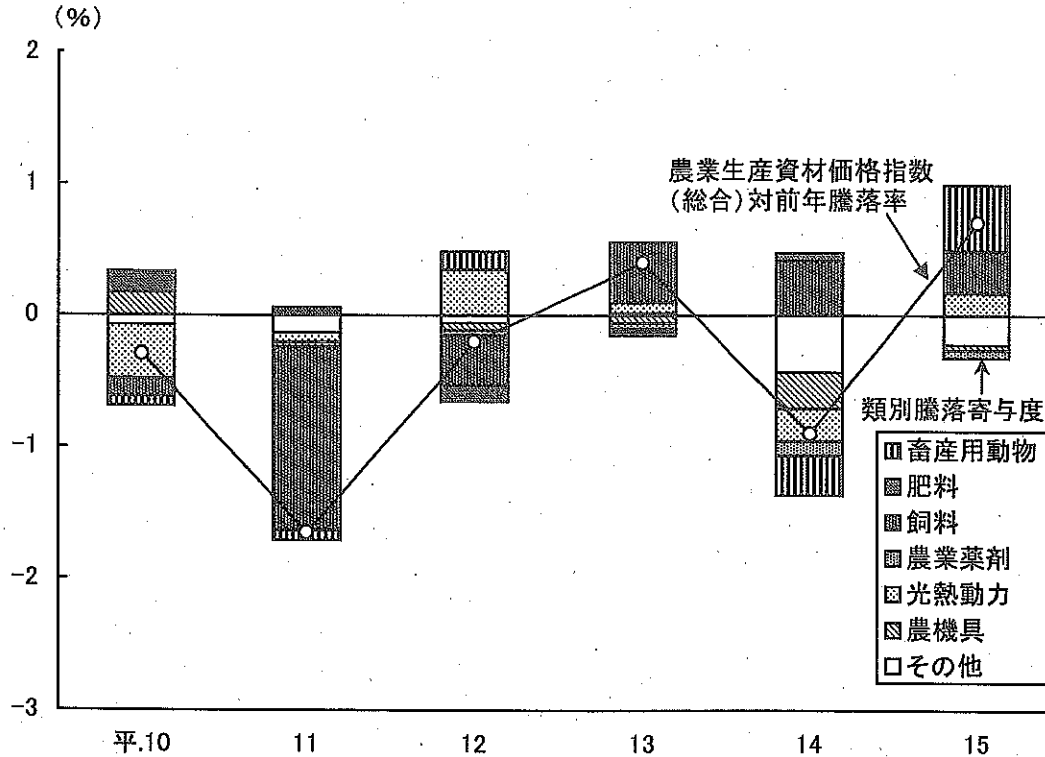
畜産物は1.1%上昇した。これは、子畜及び成畜が値上がりしたこと等による。

(3) 農業生産資材価格指数

平成15年の農業生産資材価格指数(総合)は100.2となり、前年に比べて0.7%上昇した。

これは、農業薬剤、農機具等は低下したものの、畜産用動物が12.1%上昇したほか、飼料、光熱動力も上昇したこと等による。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



ア 畜産用動物

畜産用動物は12.1%上昇した。これは、素牛価格が上昇したこと等による。

イ 飼料

飼料は2.2%上昇した。これは、とうもろこし、大豆油かす価格が輸入先の作柄不良から上昇したこと等による。

ウ 農業薬剤

農業薬剤は0.7%低下した。これは、メーカー出荷価格が引き下げられたこと等による。

エ 光熱動力

光熱動力は2.4%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。

オ 農機具

農機具は0.2%低下した。これは、メーカーのコスト削減により価格の引き下げが行われたこと等による。

第3表 農業生産資材価格指数の推移

		平成12年=100					
農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		平. 14年	15	平. 14年	15	平. 14年	15
農業生産資材総合	10 000	99.5	100.2	△ 0.9	0.7	△ 0.90	0.70
種苗及び苗木	585	100.7	100.6	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.01	△ 0.01
畜産用動物	443	92.4	103.6	△ 6.9	12.1	△ 0.30	0.50
肥料	1 014	100.4	100.4	0.6	0.0	0.06	0.00
飼料	1 383	106.3	108.6	2.9	2.2	0.41	0.32
農業薬剤	884	98.3	97.6	△ 1.2	△ 0.7	△ 0.11	△ 0.06
諸材料	764	97.8	97.0	△ 2.2	△ 0.8	△ 0.17	△ 0.06
光熱動力	737	97.7	100.0	△ 3.4	2.4	△ 0.25	0.17
農機具	1 990	98.3	98.1	△ 1.4	△ 0.2	△ 0.23	△ 0.04
自動車・同関係料金	509	98.9	98.5	△ 0.6	△ 0.4	△ 0.03	△ 0.02
建築資材	569	97.3	95.9	△ 1.7	△ 1.4	△ 0.10	△ 0.08
農用被服	49	99.0	98.8	△ 0.6	△ 0.2	△ 0.00	△ 0.00
賃借料及び料金	1 073	99.3	98.8	△ 1.2	△ 0.5	△ 0.13	△ 0.05

2 農業臨時雇賃金

平成15年の農業臨時雇賃金指数は、男子100.2（1日当たり8,671円）、女子100.4（同6,522円）となり、前年に比べて、それぞれ0.1%上昇した。

第4表 農業臨時雇賃金（1日当たり）の推移

		平成12年=100					
年次		男			女		
		指数	対前年騰落率	全国平均賃金	指数	対前年騰落率	全国平均賃金
平.	10年		%	円/日		%	円/日
	10年	100.5	0.6	8 691	99.7	0.4	6 473
	11	100.9	0.4	8 729	100.2	0.5	6 505
	12	100.0	△ 0.9	8 652	100.0	△ 0.2	6 495
	13	100.1	0.1	8 659	100.2	0.2	6 506
	14	100.1	0.0	8 663	100.3	0.1	6 517
	15	100.2	0.1	8 671	100.4	0.1	6 522